木更津工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	工業英語演習

科目基礎情報

科目番号	0136	科目区分	専門 / 選択
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	5
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	江崎秀司・樋口晶彦著『工学を志す人の工業英語』研究社出版、1995年、1700円 (+ 税)		
担当教員	板垣 貴喜		

到達目標

1. 工業英語特有の表現方法を学び、英文和訳ができる。
2. 工業英語における受動態と能動態の使い分け、無生物主語の活用 (擬人法)、助動詞の使い分け等を学び、工業英語の基礎作文ができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	500語以上の専門的な英単語およびその意味を覚えることができる	250語以上の専門的な英単語およびその意味を覚えることができる	専門的な英単語およびその意味を覚えることができない
評価項目2	技術論文の和訳ができる	工業英文の和訳ができる	工業英文の和訳ができない
評価項目3	工業英語特有の表現を用いて、レポートや報告書の作成ができる	工業英語の基礎作文ができる	工業英語の基礎作文ができない

学科の到達目標項目との関係

準学士課程 3(2)

教育方法等

概要	1. 工業英語特有の表現方法について学習する。 2. 専門的な英単語を習得する。
授業の進め方・方法	1. 授業は講義と演習で行う。 2. 合計8回の英単語の小テストを行う。 3. 授業90分間に対して90分以上の復習を教科書や配布資料を活用して行う。
注意点	(1)小テストや演習の評価の比重が大きいため，総合評価（成績）が合格点に満たない場合の再試験は行わない. (2)中間試験，定期試験および小テストは，いずれも持ち込み不可である. (3)小テストは全8回 を予定しており，テスト時間は約10分間とし実施する. (4)1回の小テストで覚える単語数は約20単語とする．小テストで出題する単語は教科書p. 91 ~ 103の中から抜粋したものである. (5)単語テストでの不正行為が発覚した場合，厳罰とする. (6)英作文や翻訳の演習を行うため，演習に必要な辞書を必ず持参すること. (7)授業中に行う小テストおよび課題は中間および定期試験の試験範囲に含む.

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	工業英語とは	授業概要の説明および文献講読（輪講）の個人担当の割り当て
		2週	冠詞	冠詞について理解できる
		3週	冠詞	冠詞について理解できる
		4週	受動態、能動態、無生物主語	受動態、能動態、無生物主語について理解できる
		5週	受動態、能動態、無生物主語	受動態、能動態、無生物主語について理解できる
		6週	工業英文の和訳	工業英文を和訳することができる
		7週	工業英文の和訳に関する解説	和訳の添削および解説
		8週	後期中間試験	試験実施
	4thQ	9週	答案返却	答案の返却および解説
		10週	助動詞	助動詞について理解できる
		11週	分詞構文	分詞構文について理解できる
		12週	文献講読	基礎的な工業英文（論文・専門書等）を読む内容を理解できる
		13週	文献講読	基礎的な工業英文（論文・専門書等）を読む内容を理解できる
		14週	文献講読	基礎的な工業英文（論文・専門書等）を読む内容を理解できる
		15週	後期定期試験	試験実施
		16週	答案返却	答案の返却および解説

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	課題	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	0	35	15	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	0	0	0	0	0	35	15	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0	0